

平成30年4月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成30年4月27日（金）午後1時30分～午後3時30分  
2 場 所 市役所6階 602会議室  
3 出席者 内藤隆行教育長

[ 委 員 ] 大岩幹夫教育長職務代理者、吉本理委員、中川奈緒美委員、  
寺本彰委員、清水国明委員

[ 事務局 ] 美甘寿規教育総務部長、岩間健一学校教育部長、師岡林教育  
総務部次長、戸村達男学校教育部次長兼学校教育課長、千葉  
裕之教育総務担当参事兼教育総務課長、木村立彦文化財保護  
担当参事兼文化財保護課長、池田隆人保健給食担当参事兼保  
健給食課長、安田幸雄教育総務課主幹兼教育企画室長、森田  
幸夫教育施設課長、関根和夫教育施設課主幹、稲田里織社会  
教育課長、海老沢康子スポーツ振興課長、斎藤洋一スポーツ  
振興課主幹、根本靖文化財保護課主幹兼埋蔵文化財調査セン  
ター所長、倉富恵理子生涯学習推進センター所長、中村まさ  
み所沢図書館長、中田利明学校教育課教育指導担当主幹兼健  
やか輝き支援室長、原雅一教育センター副所長、田中丈仁学  
校教育課指導主事

[ 書記 ] 武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主任

- 4 前回会議録の承認

- 5 会議の傍聴者 1名

- 6 開 会 本日の議案は、議案第1号から議案第7号までの7件。な  
お、議案第5号については、予算に関する審議のため、議案  
第6号及び第7号は、調査研究の公正な遂行のため、「地方  
教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基  
づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成  
し、非公開で審議されることに決定した。

また、4月1日付け人事異動に伴い、教育委員会会議の書  
記として指名されていた青木穂高教育総務課主査の後任とし

て、教育委員会会議規則第19条第2項に基づき、武政直行教育総務課主査が新たに書記として指名された。

## 7 議 題

議案第1号 所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則の一部を改正する規則制定について

資料に則り、戸村学校教育部次長兼学校教育課長から以下のとおり説明がなされた。

本議案は、平成29年10月13日付け、文部科学省からの事務連絡に伴い、「所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第8条」に係る規定の整備を行おうとするものである。

事務連絡「平成31年度小学校用教科用図書の採択について」において、採択の際、「4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられます。」とある。この事務連絡が発出された背景は、今回採択する教科書は、平成31年度のみを使用となり、平成32年度に使用する教科書は新学習指導要領完全実施に対応したものとなること、また前回の26年度採択から変更された新しい教科書の申請はないことが挙げられる。この事務連絡を受け、本年度の所沢市における小学校用教科用図書の採択に関しては、調査研究専門員を置かないことを考えている。そこで、「所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第8条」の条文中、「選定委員会に」から「選定委員会は、必要に応じ、」に改め、「置く」の次に「ものとする」を加えるものである。

本年度の小学校採択における教科書の調査研究に関しては、調査研究専門員を置かず、平成26年度採択の時の資料を活用し、併せて4年間使用した教科書についての検証を含めた研究を、学校教育課及び教育センターの指導主事が行うこととする。

以下質疑。

(中川委員)

「必要に応じ、教科用図書調査研究専門員を置くものとする」ということは、今回は例外的と捉え、基本的には、調査研究専門員を置くということによろしいでしょうか。

(戸村学校教育部長)

そのとおりです。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

#### 議案第2号 所沢市スポーツ推進委員の委嘱について

資料に則り、海老沢スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

新所沢西地区、三ヶ島地区については、スポーツ推進委員が各1名ずつ欠員となっており、このたび推薦があったことから、「所沢市スポーツ推進委員に関する規則」第3条に基づき、委嘱してよろしいか本会議にお諮りするものである。任期は平成30年5月1日から32年3月31日までとなる。

なお、今回の推薦により欠員のある地区は2地区あり、現在、推薦依頼をしており、推薦書が提出され次第、順次本会にお諮りする予定である。

以下質疑。

(清水委員)

新たに委嘱を受けた方の年齢を教えてください。

(海老沢スポーツ振興課長)

54歳と62歳です。

(中川委員)

今回委嘱された2名のうち、1名には「指導者」という記載があり、もう1名にはその記載がありませんが、これは、ご本人がその種目に取り組んでいるという理解でよろしいでしょうか。

(海老沢スポーツ振興課長)

そのとおりです。

(寺本委員)

委員の推薦は必ず自治会から、と決まっているのでしょうか。

(海老沢スポーツ振興課長)

委員の推薦は、各まちづくりセンターに依頼しており、自治会や各スポーツ団体から推薦されます。

(寺本委員)

当市の市民体育館が、ゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定を受けていることから、スポーツ推進委員の中に、ゴールボール

を専門としている方が入っていて然るべきだと考えます。

市内の小中学生であれば誰でも、ゴールボールのルールを知っているというレベルになってこそ、街をあげてこの種目を応援しているんだ、という姿勢を示せると思いますので、そのような流れを起こすきっかけとして、スポーツ推進委員にゴールボールの専門家が入っていると良いと考えました。

(海老沢スポーツ振興課長)

オリンピック・パラリンピックを視野に入れて、ゴールボールに関する活動をしている方がいる場合、推薦を検討していきたいと思います。また、各地区に広がる活動も考えていきたいと思っています。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

#### 議案第3号 所沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

資料に則り、海老沢スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

所沢市スポーツ推進審議会委員については、「所沢市スポーツ推進審議会条例」第2条により、教育委員会が任命するとあり、また、第3条で、その任期は2年となっている。現在の委員の任期は、平成28年7月1日付けにて委嘱し、平成30年6月30日までとなっている。

平成30年3月31日をもって知識経験者として選出されていた委員が、小学校体育連盟会長の職を退かれたことから、委員の解嘱について、3月の本会議において承認していただいたが、その後任として、同連盟より推薦があった方に委員の委嘱を行うものである。

以下質疑。

(中川委員)

新たに委嘱を受けた方が専門とするスポーツはありますか。

(海老沢スポーツ振興課長)

野球です。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

#### 議案第4号 所沢市就学支援委員会委員の委嘱について

資料に則り、戸村学校教育部次長兼学校教育課長から以下のとおり説明がなされた。

本委員会は、所沢在住の学齢児童生徒及び就学予定者で、知的障害、自閉症・情緒障害、身体障害、その他の障害のため、教育上特別な措置を必要とする者に対し、就学相談を申し込まれた幼児・児童生徒、及びその保護者との面談を実施している。また、保育園、幼稚園、小・中学校での観察等を通して、一人一人の教育的ニーズに応じた就学先、具体的には、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校、及び通級指導教室のいずれの教育課程が合っているかを判断している。

所沢市就学支援委員会は、所沢市障害児就学支援委員会を前身として、平成26年4月1日の条例施行により、その位置づけが明確となった。委員の人数については、所沢市就学支援委員会条例に「委員70人以内で組織する」と規定されており、それに基づき、条例定数上限の70名を委嘱する予定である。これは、年々増加する相談件数に適切に対応するためである。委員は、条例に基づき、所沢医師会推薦の医師、児童福祉施設の職員、知識経験を有する者、所沢市立小・中学校の校長、及び教諭等から組織している。

以下質疑。

(中川委員)

今回、新任として委嘱される人数は、例年と比べていかがでしょうか。

(戸村学校教育部次長)

今年度に関しては、例年と比べて新任者は少ないと考えます。

(吉本委員)

委嘱された方の中で、幼稚園関係の方は含まれていますか。

(戸村学校教育部次長)

含まれております。

(寺本委員)

傾向として、発達・情緒障害のある通級指導教室の相談件数が増えています、固定学級の相談は増えていない、ということについて、どのように分析されますか。

(戸村学校教育部次長)

通級指導教室の発達・情緒障害の相談件数が増えていることについては、コミュニケーションに苦手意識を持っている児童・生徒が増えており、学校への相談を経て、就学支援委員会をとおして通級指導教室に通い、コミュニケーションの取り方

を学ぶ機会を与えた方が良いのではないかと判断するケースが増えていることが考えられます。

また、固定学級の相談件数がそれほど増えていないことに関してですが、就学相談は保護者からの申込ということもあり、申込がなければ相談を行っていません。ノーマライゼーションの観点等から、保護者が通常学級での学習を望むケースが増えていることが理由と考えられます。

(寺本委員)

通級指導教室の発達・情緒障害の相談件数が増えているのは、保護者からの相談が増えているということでしょうか。

(戸村学校教育部長)

保護者からの相談が増えているケースもありますし、学校がその児童・生徒の特性・個性を把握した上で、保護者に対し、相談の申込を働きかける場合もあります。

(清水委員)

発達障害の判断というのは、容易ではなく慎重さが求められると思いますが、どこかのタイミングで専門家による判断がなされるのでしょうか。

(戸村学校教育部長)

就学支援委員会は、複数の部会に分かれています。主に教員が担っている調査部会があり、そこで調査を行います。その他に判断部会があり、そこで調査員が調査した報告を受けて、適切に判断していただいています。委員の中には、医師や学識経験者が含まれています。

(清水委員)

子どものときに、発達障害と判断されたけれども、社会に出て活躍している方がいると聞きます。教育とは、皆と同じ一つの枠にはめ込むことではないし、記憶力だけで能力を測ることとも違うと思います。世の中の大変な変化の中で、これまでの我々の教育という考えの中では、枠にはまらない子もいると思います。そのような子どもを一つの枠の中にはめて判断してしまうと、豊かな才能の芽を摘んでしまうことに繋がる可能性が出てくるのではないかと懸念します。少し寛容な目で、長い見通しをもって見てあげると、将来、素晴らしい才能を開花させるのではないかと思います。不得意な部分を補うのではなく、秀でた部分を伸ばすという意味では、枠にはめ込まない方が良いと考えます。

(岩間学校教育部長)

苦手なことを補うよりも、良さを伸ばすという考えは、とても大切だと思います。そのような考え方は、教員の中にも広がってきていますので、ご指摘のあったような視点を持って、当市の教育を引き続き進めていきたいと考えています。

(吉本委員)

こどもと福祉の未来館にある「こども相談センター」との連携はありますか。

(岩間学校教育部長)

「こども相談センター」とは情報交換を行っており、教育センターも含めて連携をとっています。

(吉本委員)

相談者からすると、一つの場所で相談が広がると助かると思いますので、引き続き連携をお願いします。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

《傍聴者退室 午後2時10分》

議案第5号 平成30年度教育費予算(6月補正)について

資料に則り、千葉教育総務担当参事から以下のとおり説明がなされた。

資料に則り、中村所沢図書館長から以下のとおり説明がなされた。

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第6号 平成31年度使用中学校用教科用図書(特別の教科道徳)採択に係る、所沢市立小・中学校用教科用図書選定委員及び教科用図書調査研究専門員の任命について

資料に則り、戸村学校教育部次長兼学校教育課長から以下のとおり説明がなされた。

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第7号 平成31年度使用小学校用教科用図書採択に係る、所沢市立小・中学校用教科用図書選定委員の任命について

資料に則り、戸村学校教育部次長兼学校教育課長から以下のとおり説明がなされた。

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 協議事項 なし

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の4月から7月までの主な行事予定について（教育総務課）

「所沢市議会一般質問答弁要旨 平成30年第1回（3月）定例会」について  
公民館長の任命について（教育総務課）

平成30年度教育費予算の概要について（教育総務課）

「第2次所沢市図書館ビジョン」の策定について（所沢図書館）

「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」の策定について（所沢図書館）

「第18回所沢図書館まつり」記録集の発行について（所沢図書館）

平成30年度当初の市立幼稚園園児及び、小・中学校の児童・生徒数について  
（学校教育課）

臨時代理の報告 所沢市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について  
（学校教育課）

教育大綱について

（千葉教育総務担当参事）

教育大綱が策定され、市議会に4月2日付けで通知しています。11日には、校園長会で説明を行い、その後、額装した教育大綱を市内全小中学校に配布しました。25日には、公民館長会議でも説明を行いました。また、教育施設として、図書館、市民体育館、生涯学習推進センター、埋蔵文化財調査センター、教育センターに配布し、周知を図っています。さらに、教育長室並びに教育委員室にも掲額をいたしました。

以下質疑。



(吉本委員)

「平成30年度教育費予算の概要について」の資料にある幼稚園費には、私学の幼稚園への補助金も含まれていますか。

(千葉教育総務担当参事)

含まれております。

(中川委員)

所沢第二幼稚園の今後について、どのような方向性でしょうか。

(岩間学校教育部長)

3月の市議会において、平成30年度の新入園児は17名となることから、改めて答申を尊重し、廃園に向けて進めていく趣旨の答弁をしております。

(中川委員)

広報誌5月号にて、学校について取り上げられていましたが、どのような経緯で掲載されたのでしょうか。

(千葉教育総務担当参事)

半年に一度、広報課から、特集記事に掲載する内容の募集があり、このたび学校教育課が手を挙げて採用されたという経緯です。

(岩間学校教育部長)

学校への人的配置は、本市の教育において重要な取組であり、記事は学校教育課で作成しました。職員が現場に行き、見学をしたり、取材をしたりして、作成したものです。当市では、様々な方が市の予算で学校に入り、チーム学校として取り組んでいるところです。そのような取組の詳細を、市民の皆さまに広くお伝えしたいという考えから、このたびの広報誌への掲載となりました。

(吉本委員)

オリンピック・パラリンピックに関連した催し物を、学校で開きたい場合の窓口は、どのようになっていますか。

(海老沢スポーツ振興課長)

オリンピック・パラリンピックに関しては、企画総務課が市の窓口となっていますが、スポーツ振興課も協同して取り組んでいます。

(吉本委員)

学校において、子ども達の前で開催したいという声を聞くのですが、どのよう

なやり方がありますか。

(海老沢スポーツ振興課長)

ゴールボールを例にしますと、体験会を企画していて、手を挙げていただいた学校の中から、年間3～4校を選んで実施しています。

(中川委員)

例えば、有名なスポーツ選手が地元の学校で何かしたいという場合も、企画総務課を通す必要があるということでしょうか。

(戸村学校教育部次長)

これまで、各種団体からお話があり、学校長の判断で取り組んだ例があります。実施にあたっては、学校から教育委員会に報告した上で、行っています。

(清水委員)

教育委員会において、セクハラやパワハラに関する基準は設けられていますか。

(美甘教育総務部長)

市として、「所沢市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」というものが定められています。苦情の申出に対応するため、要綱において、各部署ごとにハラスメント相談員を設置するものとしています。

(中川委員)

ハラスメントに関しては、みんなが学んでいくことが大切だと思います。信頼関係で結ばれているということを前提に、お互いミスをすることもありますが、互いに正し合い、みんなで学びあっていく、というスタンスが良いのではないのでしょうか。また、後になって訴えるのではなく、何か不快な思いをしたのなら、その場で相手に伝えることが大事だと思います。

(吉本委員)

石巻市の大川小学校の例を見ても、マニュアルが整備されていることが大切だと感じました。

## 1 0 その他

- ・教育委員会会議 5月定例会：5月29日（火）午後1時30分  
所沢市役所6階 602会議室
- ・学校視察：5月29日（火）午前中
- ・教育委員会会議 6月定例会：6月27日（水）午後1時30分  
教育センター1階 第1研修室
- ・教育委員会会議 7月定例会：7月30日（月）午後1時30分  
所沢市役所6階 604会議室

1 1 閉 会 午後3時30分